









# 迂つかり減資に 承諾は出来ない

## たゞと總會で決議しても 朝鮮信託預金者の態度強硬

仁川朝鮮信託銀行は、本年十二月の定時総会に於いて、減資の決議がなされた。この決議は、銀行の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったものである。銀行側は、この決議を以て、減資の完了と見て、銀行の経営に専念しようとした。しかし、預金者側は、この決議に承諾しない。預金者側は、銀行の経営者側が、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。預金者側は、銀行の経営者側が、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 今村社長 突如辞任す

## 總會を前にして

仁川朝鮮信託銀行の今村社長は、本年十二月の定時総会に於いて、突如辞任した。今村社長は、銀行の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。今村社長は、銀行の経営者側が、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。



光州南訓の教練査閲

光州南訓の教練査閲は、本年十二月の定時総会に於いて、行われた。査閲は、光州南訓の教練の進捗状況を査閲するために行われた。査閲の結果、光州南訓の教練は、進捗状況を良好と評価された。査閲の結果、光州南訓の教練は、進捗状況を良好と評価された。

# 會館會談

## 二十日後に再開

仁川朝鮮信託銀行の會館會談は、本年十二月の定時総会に於いて、行われた。會談は、銀行の経営者側と預金者側との間で、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。會談の結果、銀行の経営者側と預金者側との間で、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 南浦會議所

## 總會を前にして

南浦會議所の總會は、本年十二月の定時総会に於いて、行われた。總會は、南浦會議所の経営者側と預金者側との間で、迂つかり減資の形を取ったのは、南浦會議所の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。總會の結果、南浦會議所の経営者側と預金者側との間で、迂つかり減資の形を取ったのは、南浦會議所の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 感謝の電報

## 釜山府會から

釜山府會からは、仁川朝鮮信託銀行の経営者側に、感謝の電報が送られた。電報は、銀行の経営者側が、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。電報の結果、釜山府會と仁川朝鮮信託銀行の経営者側との間で、迂つかり減資の形を取ったのは、釜山府會の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 市場税徴収と 助興税増設

## 大邱府會決議で承認

大邱府會は、本年十二月の定時総会に於いて、市場税徴収と助興税増設の決議を行った。決議は、市場税徴収と助興税増設の形を取ったのは、大邱府會の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。決議の結果、大邱府會と市場税徴収と助興税増設の形を取ったのは、大邱府會の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 七十八萬圓 以來の珍事

## 釜山南浦銀行の怪事

釜山南浦銀行は、本年十二月の定時総会に於いて、七十八萬圓の損失を被った。損失は、銀行の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。損失の結果、釜山南浦銀行の経営者側と七十八萬圓の損失を被ったのは、釜山南浦銀行の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 安南家のめつた

## 安南家のめつた

安南家は、本年十二月の定時総会に於いて、めつた。めつたは、安南家の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、安南家の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。めつたの結果、安南家の経営者側とめつたのは、安南家の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 羅南の劇場 初瀬座全焼

## 一萬六千圓の損失を被った

羅南の劇場は、本年十二月の定時総会に於いて、初瀬座全焼の被害を受けた。被害は、劇場の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、劇場の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。被害の結果、羅南の劇場の経営者側と初瀬座全焼の被害を受けたのは、羅南の劇場の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 七七留守隊

## 七七留守隊

七七留守隊は、本年十二月の定時総会に於いて、七七留守隊の被害を受けた。被害は、七七留守隊の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、七七留守隊の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。被害の結果、七七留守隊の経営者側と七七留守隊の被害を受けたのは、七七留守隊の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

# 州黄

州黄は、本年十二月の定時総会に於いて、州黄の被害を受けた。被害は、州黄の経営者側から見て、迂つかり減資の形を取ったのは、州黄の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。被害の結果、州黄の経営者側と州黄の被害を受けたのは、州黄の経営者側の都合で、預金者の利益を犠牲にするものであると見て、承諾しない。

### 紅茶

朝ノ一杯 一日愉快  
タノ一杯 一家團圓

有名茶店 徳島市 小洋行

### ミカサカイロ

外に家庭に  
事務に旅行に  
風邪の予防にもなり  
温灸治療器ともなる  
優美・輕便  
(コンパクト型)  
焚火は銀色手につかず  
保温長時・立消へせぬ  
パイロット・バルブ・難燃性あり

東京日本橋區區役所  
株式会社 島田商店  
電話 三三三三

### 仁丹

仁丹の健康に  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝

### 仁丹

仁丹の健康に  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝

### 仁丹

仁丹の健康に  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝  
健康こそ、人生に最も貴重な宝



竹内靜古氏

[illegible]

同四時〇分 ニュース、公示出  
 同五時四十分 ラヂオ體操、體  
 婦人に望む  
 同二時一五分 婦人講座「現代  
 婦人に望む」  
 南山本願寺 栗田 聖  
 同四時〇分 ニュース、公示出  
 同五時四十分 ラヂオ體操、體

平		平
	平	平

△三四歩 △二六角 △六五  
△六五柱 △同金 △同  
△同金 △四五柱 △四三  
(以下次略)  
(前頁末上段讀) (上手)  
(下手) 二六角と引いて、四

(上手) 同金と敵柱を取るの  
て敵を指し切りに導く處であ  
(下手) 金を犧牲にして上手  
駒合ひむを得ない手である  
(下手) 四四歩打ちは指し切り  
の下手を算ふ處である

同、時、分、ニ、エ、ス、公、衆、事、項、  
翌、日、の、プ、ロ、グ、ラ、ム、設、置、  
何、七、時、三、十、分、商、業、ニ、エ、ス、  
同、八、時、零、分、  
演、劇、演、説、  
維、新、運、動、  
大、正、十、年、  
伯、朝、  
年、後、八、時、三、  
十、分、  
ラ、ヂ、オ、ド、ラ、マ、  
浪、山、出、果、作、一、百、四、十、年、  
（其、中、其、の、一、は、佐、賀、縣、内、陸、  
奥、の、一、百、三、十、年、陸、奥、縣、時、  
政、判、公、判、録、其、の、三、（二、十、  
分、程、）  
工、部、省、

子幸 大川スミ子  
 合議 中 但  
 合議 富田ア子  
 掛旗 森本 昌男  
 同 三益 中  
 俳優 那國オケスト

井上 正実  
大久保利通  
豊田 碩二  
河野 俊雄  
丸山 定夫  
香月 純五郎  
田井 顯夫  
山中 某  
箕川 武夫

島田 敏一  
 伊藤 晃一  
 浮田左武郎  
 秋山 樵三  
 西 康一  
 田村 登  
 太田 友吉

選卒  
 同 同 同

演劇の言葉

子 子  
 同九時四十五分 兩道短歌  
 一、短歌 二、茶加道  
 於東京日本橋 清田木將棋所  
 基調歌約二ノ處  
 角番交 ▲六段 藤和一郎 (東京)  
 角番交 ▲三級 堀山 正夫 (東京)

牙	有		
膠		有	
		龍	
			來

	日		
		長	長
長	長	勝	勝
	勝	勝	
長	龍		

三、四歩と打つて、敵の應手を窺ふのは  
 此向角を強要する方針は定石である  
 持駒 ▲後手氏 相歩歩  
 歩 ▲三六銀 ▲六六歩 ▲同 ▲金  
 金 ▲五七桂 ▲五六金 ▲五三角成  
 金 ▲四四歩 ▲同 ▲金 ▲五三銀  
 金 ▲四四歩 ▲同 ▲金 ▲五三銀

も面白くない。茲は六八銀と邊に引いて、  
 控振の意味で、五七桂と打つのは此の  
 形勢となる故。茲は三歩と打つて敵

於東京市日本橋區蛸割二ノ區 齊呂木將棋所

一 (巻五三五) 香内交  
 二 (巻四四) 内寄  
 三 六段 腰飾二部  
 四 正衣  
 五 袴  
 六 足袋  
 七 足袋  
 八 足袋  
 九 足袋  
 十 足袋

[illegible]

同金	△四六步	△四三金	△四四步	△同金	△五三銀
同金	△六五步	△同金	△五七銀	△六六步	△同金
△二六金	△六五步	△二七銀	△六六步	△五三角	
△三六步					

持剛△提山△桂步步

三歩と打つて、敵は飽手を劉ふのは  
二角と引いて、敵に間合を創する方が定石である  
六歩と突いて、決戦を志るのは陽謀の攻め方である  
右の手前門くない、蓋は同様に取つて格好防壁する段であ  
る。同急と敵柱を取るのを白くない、蓋は八八銀と繰に引い  
たが、切りに導くべき手である。

手は、四歩打つては、切手と成る故、去は三歩と打つて敵

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]